

舞鶴版地方創生の先行的取り組み

市では、このふるさと舞鶴の豊かな自然を守り、活かしながら、子育て・教育・医療・福祉・雇用などのさまざまな環境の充実を図り、心豊かに暮らすことができるまちづくりを推し進めています。

シリーズ市政の「今」。第18回は、舞鶴版地方創生の実現に向け、先行して実施する取り組みをお知らせします。



▲舞鶴版地方創生にかける思いを述べる多々見市長（2月20日）

舞鶴版地方創生の推進

国では、平成26年11月28日に「まち・ひと・しごと創生法」が施行。同年12月27日に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」および「まち・ひと・しごと総合戦略」が閣議決定され、今後の国全体における地方創生の方向性が示されました。

国において示されたこれらの内容は、まさに本市が目指す新たなまちづくりのビジョンと合致することから、これまで検討してきた「心豊かに暮らせるまちづくり」の施策を総合戦略としてとりまとめ、今年度から国・府との連携のもと「舞鶴版地方創生」を積極的に推し進めます。

「舞鶴市のまち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を予定

市では、人口減少に歯止めをかけ、活力ある地域経済を維持していくことを目的とした地方創生を積極的に推進するため、「舞鶴市のまち・ひと・しごと創生総合戦略」を本年度早期に策定する予定です。

総合戦略の策定は以下（図1）のとおりとし、本市が目指す新たな数値目標「交流人口300万人、経済人口10万人の都市・舞鶴」の実現を目指していきます。

地域消費の喚起と生活緊急支援

地域住民の生活緊急支援の取り組みとして、「プレミアム付商品券」を発行し、地域消費の喚起と地域経済の活性化を図ります。これは1セット1万2,000円分の商品券を1万円で販売するもので、発行金額は3億6千万円。合計3万セットを販売します。

併せて、低所得者と子育て世帯には、1人当たり3,000円分の商品券を交付します。



上：バス
右上：京都丹後鉄道
右下：タクシー

高齢者が外出しやすい環境づくり

また、商品券の利用を伴うご当地カード（リンクカード）の利用について、通常付与されるポイントの3倍を商店街とともにプレミアムポイントとして付与します。

高齢者の皆さんの買い物や通院、レクリエーションなどの外出を支援するため、75歳以上の高齢者を対象に公共交通機関の運賃を軽減するお得な割引乗車券を販売しています（写真1）。

この取り組みは、高齢者の皆さんの外出しやすい環境をつくることを目的とし、昨年度の試行を経て、本格実施するもので、高齢者の健康増進や商店街などの地域活性化が期待されます。

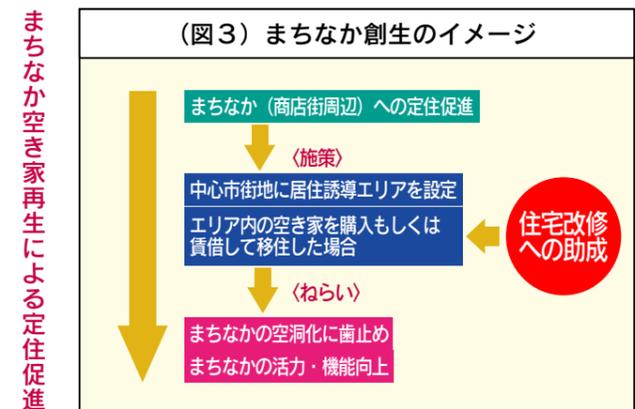
道の駅を観光戦略拠点に



（写真2）「道の駅」舞鶴港とれとれセンター

「道の駅」舞鶴港とれとれセンターは、平成27年1月30日、国土交通省が認定する重点「道の駅」候補（全国49か所／1,040か所中）に選定されました（写真2）。

この海・港が望める最高のロケーションを活用したさらなる観光拠点化と外航クルーズ客船の寄港などによる外国人観光客の誘客を促進するため、「道の駅」に「産地直販飲食施設整備」「外国人観光案内および免税店舗カウンター整備」「トイレの改修（※インバウンド対応）」を行い、グローバルな観光案内機能の強化と観光誘客による経済波及効果の拡大に努めていきます。



まちなか空き家再生による定住促進

人口減少、商店街の活力の低下により、中心市街地の空洞化が進んでいるため、市が指定する居住誘導エリアの空き家を購入もしくは賃借する人が実施する住宅改修費用の一部を助成します（図3）。市では、今後も商店街エリア周辺の空き家などへの定住促進を図り、都市機能の向上と活力ある暮らしやすいまちづくりを推進していきます。

今後の取り組み

このたびご紹介した施策は、先行的取り組みとして実施する舞鶴版地方創生の一部です。これらの取り組みを足がかりとして、目標の達成に向けた地方創生を進めていきます。

※訪日外国人旅行者への対応のこと